

国立大学法人 長岡技術科学大学  
令和4年度第4回経営協議会議事要旨

日 時 令和4年11月24日（木）15時00分～16時50分

場 所 東京ガーデンパレス 高千穂の間

出席者 鎌土議長、天羽委員、荒木委員、池田委員、小花委員、角田委員、合田委員、関委員、谷口委員、和田委員、吉田委員、佐藤委員、武田委員、高橋委員、井原委員、高見委員  
（議事の表決委任による出席 磯田委員、Tran委員）

陪席者 日下部監事、野本監事、大石附属図書館長

事務局 事務局次長（総務担当）、大学戦略課長、人事労務室長、財務課長、監査室長、財務課予算係長、財務課予算係員、総務課専門員、総務課総務係長、総務課総務係員  
（文科省出向：研究・地域連携課係員）

議事に先立ち、鎌土議長から令和4年度第3回議事要旨(案)について説明があり、案のとおり承認した。

#### 審議事項

##### 1. 令和4年人事院勧告に伴う給与規則等の改正方針について

佐藤委員から、資料1に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

##### 2. 令和4年度長岡技術科学大学補正予算の編成について

佐藤委員から、資料2-1から資料2-3に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

主な質疑応答は以下のとおり。（○：学外委員からの質問、意見等 ●：大学からの回答）

○昨今のエネルギー価格の高騰の件について、追加の予算要求はできないのか。

●文部科学省からエネルギー費の支出について調査があり、一定割合が追加配分される予定である。

##### 3. 長岡技術科学大学財政計画の策定について

吉田委員、佐藤委員から、資料2に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、文言等の軽微な修正については学長に一任することとした。

主な質疑応答は以下のとおり。

○間接経費の記載については間接という表現は無駄な経費のように感じられる。間接経費の用途については、日ごろから説明していくことが重要である。

○大学関係者の場合は、間接経費の記載の方がわかりやすいと思われる。間接経費の説明を入れるなどの工夫により何に使われているかが実質的にわかるようにしていただければと思う。

人件費の項目で、業務費が5割以上を占めていること、直ちに削減できる性質の経費ではないとの記載があるが、人は付加価値を生み出すものとの考え方が企業の中でも生まれている。仕事内容とセットの問題で、人件費が多いから悪いわけではなく、効率化したから良いわけでもない。

- 外部の方から見て、不自然で無い表現に訂正する。
- 「直ちに削減できる性質の経費ではない」は削除する。

#### 4. 学長選考・監察会議構成員の選出について

鎌土議長から、資料4に基づき説明があり、審議の結果、学長選考・監察会議構成員として、大学設立の趣旨を共有している豊橋技術科学大学の理事・副学長でもある角田委員を選出した。

#### 報告事項

1. 国立大学改革・研究基盤強化推進補助金（国立大学経営改革推進事業）の採択について  
和田委員から、資料5に基づき報告があった。

主な質疑応答は以下のとおり。

○特に製造業ですと、前からARを活用できないかと考えていたが、単独での自社開発は難しいというのが正直なところだ。

AR技術は製造業と親和性が高く、活用できるところがたくさんある。これからスタートとのことで、いろいろ計画されていると思うが、是非企業も巻き込んでいただくと面白いものができると思う。期待したい。

- 企業、自治体も含めてコミュニティを形成したい。

2. 共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）の採択について

鎌土議長から、資料6に基づき報告があった。

主な質疑応答は以下のとおり。

○新潟の休耕田がどのくらい進んでいるのか

- 中山間地、例えば長岡市の山古志のような条件不利地から徐々に田んぼが使われなくなっている。もともとの農地面積は小さいので、休耕田の面積の拡大はそれほどではない。ただ確実に進んできていることは確かであり、人手不足がかなり進行している状況である。

○農業の新しいスタイルモデルを生み出していただきたい。

3. 大学の世界展開力強化事業（インド太平洋地域等との大学間交流形成支援）の採択について  
高橋委員から、資料7に基づき報告があった。

以上